

令和8年度事業計画（案）

I 概要

京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、生物多様性に関する情報を正確かつ継続的に把握し、収集された知見を基に、生物多様性に係る理解促進や担い手育成、地域や企業の保全活動の支援等を行うとともに、保全に係る様々な主体の連携・協力関係を構築し、効果的かつ持続可能な生物多様性保全の取組を展開する。

令和8年度は、生物多様性保全に取り組む個人間の交流を深めるため、「友の会」を設立し、活動の基盤づくりに取り組む。また、センターが主体となって実施している担い手育成研修等の事業については、「友の会」と各保全団体等との連携により実施する。

II 新規、充実事業、実施手法の見直し

- 1 生物多様性に取り組む個人間の交流を深めるための「友の会」の設立 **新規**
きょうと生物多様性センター「友の会」の設立について
- 2 多様な主体との連携による事業推進 **実施手法の見直し**
以下の事業については、「友の会」や各保全団体等との連携により実施
 - ・環境学習事業への講師派遣
 - ・市町村や企業等と連携した環境教育・啓発の実施
 - ・生物多様性保全に係る担い手育成研修
- 3 生物多様性に係る調査・研究 **充実**
センターの集積情報を活用した調査・研究の推進（各種助成事業を活用）

III 事業内容（上記記載分を含む）

1 「収集」分野の事業

- (1) 分布などの生物多様性情報の集積・データベース化
 - ・情報の集積・整理・分析
 - ・情報基盤の構築
 - ・収集した情報を活用した普及啓発等
- (2) 各主体における標本・文献等資料の保有状況の把握
 - ・京都府内の関連施設及び学校等における標本・文献等資料の保有状況の把握、データベース化及びデジタルアーカイブ化の検討

2 「利活用」分野の事業

- (1) 民間企業や大学等研究機関、保全団体等の多様な主体のネットワーク形成
民間企業や保全団体、府民などとの協議による事業を実施し、これら関係者のネットワーク化を図る。
 - ・きょうと☆いきものフェスの開催と拡充 **重点**

- ・きょうと☆いきもの調査の実施
 - ・生物多様性保全に取り組む個人間の交流を深めるため「友の会」を設立 **新規**
- (2) 民間企業や大学等研究機関、保全団体等の連携による保全活動のコーディネート
- ・きょうと生物多様性パートナーシップ協定に基づく保全団体への支援
 - ・森里街川における保全活動の支援による取組拡充・創出 **重点**
- (3) 民間企業や保全団体等の保全活動や事業の際の環境配慮などに関する相談対応
- ・京都商工会議所や京都工業会等と連携した自然共生サイトや自然関連財務情報開示等に関するセミナーの開催など、生物多様性に配慮した経済活動の促進 **重点**
 - ・事業活動や保全活動に関する相談対応
- (4) 地方公共団体・民間企業等に対する情報と専門的知識に基づく助言・提案
環境調査の際の情報提供、助言、提案等
- (5) 生物多様性に係る調査・研究 **充実**
センターの集積情報を活用した調査・研究を推進（各種助成事業を活用）

3 「継承」分野の事業

資料や情報を活用した環境学習・担い手育成及び情報発信

- ・京都ならではの生物多様性の発信 **重点**
- ・環境学習施設等と連携した環境学習の実施
（4 園館をはじめ地域の拠点施設におけるイベント共催や講師派遣）
- ・環境学習事業への講師派遣 **実施手法の見直し**
- ・センター事業の広報・情報発信（ニュースレター発行、メルマガ配信等）

4 その他事業

- (1) 持続可能な運営に向けた取組
- ・賛助会員、協賛等の募集及び国等の交付金の獲得
 - ・中期計画の検討・策定 **重点**
 - ・持続可能な体制構築に向けた検討
- (2) 外部資金の獲得等に応じた追加的取組
- ・保全団体や民間企業等の保全活動や啓発等の支援及び受託
- (3) 職員の人材育成
先進地視察等や研修受講によるセンター職員の能力向上